

授業科目	成人看護学 目的・対象論	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
		◎	1 年次後期	1 単位	講義・GW	30 時間
到達目標	1 成人看護の目的を理解する 2.成人期にある対象の発達段階と各期の特徴を理解する 3.成人期の健康に影響を及ぼす要因を理解する 4.成人の健康破綻と回復過程について理解する 5.成人保健の意義と役割、動向について理解する 6.労働者と青年期の学生に対する保健活動を理解する 7.生活習慣病と成人期に多い疾患の動向と対策について理解する 8.成人期における健康保持増進のための看護を理解する					講師
						専任教員
授業計画						
1 回	1. 成人期にある人の特性 2. 成人の社会とのかかわり 3. 成人の健康問題 4. 成人看護の特徴					
2 回	5. ライフサイクルにおける成人期 6. 成人期の発達課題					
3 回	7. 成人各期の区分と特徴 1)青年期の区分と特徴 2) 壮年期の区分と特徴 3) 向老期の区分と特徴					
4 回	8. 健康に影響を及ぼす要因 1)年齢と性 2)健康に対する信念・価値観 3)生物学的要因、物理・化学的要因、社会的要因、文化的要因					
5～	9. 身体生理的適応 1)統合機制 2)ストレスの増強過程と適応反応 10. 心の健康<コーピング>1)対処機制					
6 回	2)防御規制 3)不安と危機 11. 身体一心のつながり 1)身体と心 2)身体と心の相互作用 3)看護への適応					
7 回	12. 成人の健康の保持・増進 1)成人の健康な生活 2)健康を保持増進する活動					
8 回	13. 健康破綻の要因 1)成人各期の健康破綻 2)成人の生活と健康破綻 14. 健康破綻の予防と早期発見 15. 健康問題に取り組む過程と援助					
9 回	16.成人保健活動の意義 17.成人期の保健活動の目標 18.成人の健康障害に関わる要因 19.産業保健活動の重要性					
10～	20. 健康指標にみる成人の特徴 1)人口の面からみた対象の構造 2)平均寿命と健康 3)健康障害と疾病の概況 4)					
11 回	死亡の動向 21. 生活の中にみる成人の特徴 1)成人と暮らしの現状 2)生活環境					
12～	22.労働者に対する保健活動 1)産業保健の歴史と現状 23.労働者の健康障害と予防対策 1)職業に起因する疾					
14 回	患・健康障害の予防 2)産業疲労と産業破壊 24.青年期に対する保健活動 1)保健教育と保健管理 2)学生・生徒の健康問題 3)生活リズムと健康習慣の育成 4)精神保健の諸問題 25.がん予防と対策 1)罹患の状態とがん死亡の率の推移 2)治療と生存率 3)がん対策の推移とがんの予防活動 26.高血圧症の予防と対策 1)高血圧症の特徴 2)高血圧症の予防活動 27.脳血管障害の予防と対策 1)死亡数の推移 2)予防の活動と対策 3)リハビリテーション対策 28.虚血性疾患とその危険因子 29.糖尿病の予防と対策 1)罹患の概況 2)予防の諸活動と患者教育 30.難病 1)難病と特定疾患 2)難病対策の概要 3)支援活動の実際 31.結核 1)罹患・死亡の推移 2)予防対策 32.AIDS 1)AIDS の特徴 2)罹患の推移 3)AIDS 対策 33.性行為感染症 1)罹患者の推移					
15 回	34.健康増進の概念 35.国民健康づくりの施策 36.健康増進活動の方法 37.健康増進のための成人期の実践保健行動 1)成人期の保健意識 2)成人期の食生活 3)成人期の休養 4)成人期の運動 5)成人期のストレスと対処方法 6)喫煙 7)飲酒 8)性 9)労働					
評価方法	修了試験 選択肢問題又は論述問題による筆記試験 (100%)					
教科書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学①成人看護学総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学④ 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生統計協会					
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。 復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。					